

浜の若衆が継承する出羽三山信仰

きさらづしなかじま ぼんでんたて  
木更津市中島の梵天立て



毎年1月7日の未明に、<sup>かねだ</sup>金田・<sup>げんかん</sup>中島区の若者達が<sup>げんかん</sup>厳寒の海中に梵天を立てる行事です。海岸では<sup>ぎょうにん</sup>行人達が<sup>はんにやしんぎょう</sup>般若心経を唱え、<sup>ごこくほうじょう</sup>五穀豊穰・<sup>はまたいりょう</sup>浜大漁などを<sup>きとう</sup>祈禱します。この年に初めて若者の仲間入りをした男子が中心となる一種の成人<sup>せいじん</sup>儀礼です。江戸時代の<sup>げんろく</sup>元禄年間に<sup>でわさんざん</sup>ふりかかった災難を、<sup>せいじん</sup>出羽三山行人の祈禱による<sup>りやく</sup>ご利益で解決できたことに始まると伝えられています。今でも出羽三山<sup>しん</sup>信仰が強く残る千葉県内<sup>こう</sup>にあって、その具体的な姿を残す<sup>みんぞくぎょうじ</sup>民俗行事です。

\*\*\*\*\*

国記録選択文化財：民俗文化財（無形民俗文化財）

選択年月日：平成4年2月25日

所在地：木更津市中島

保存団体等：中島区文化財保存会ほか

公開・非公開の別：公開（例祭時）

\*\*\*\*\*

※「記録選択制度」は、文化庁長官が重要無形文化財以外の無形文化財のうち特に必要のあるものを選択して、自らその記録を作成・保存・公開することができるものとした制度です。

従って、国宝・重要文化財・都道府県指定文化財・区市町村指定文化財とは区別しています。